

神経内科コース

◇ 研修目標

神経内科診療に専念し、専門医に相当する知識と技術を身につける。

◇ 施設基準 日本神経学会教育関連施設

◇ 担当医師 森本 展年（医長）、影山 康彦（医長）、高宮 資宜（医長）

◇ 研修内容

1. 神経学的診察法を習得し、外来診療を行う。
2. 電気整理学的検査（針筋電図・神経伝導検査など）を自ら施行し習得する。
3. 認知機能、高次機能の評価を習得する。
4. 神経内科の各疾患（髄膜炎、脳炎、脊髄炎、多発性硬化症、パーキンソン病、ALS、ギラン・バレー症候群、脳血管障害など）について入院主治医として担当し、診断・治療にあたる。
5. 神経病理（神経生研、筋生検）を経験し、正しい検体処理と病理所見の解釈を習得する。
6. 遺伝性神経疾患の遺伝子検査について理解する。
7. 症例検討会・学会等での症例報告を経験する。
8. 神経難病の患者、家族への告知・接し方、難病医療制度に対する知識を習得する。
9. 外国文献も含め、検索方法を身につけ、広く新しい医学情報を集められるようにする。
10. 研修中に内科認定医／専門医、および神経学会専門医取得の準備を行う。
11. 経験しきれない症例については院内他科および大学病院等での研修も検討。